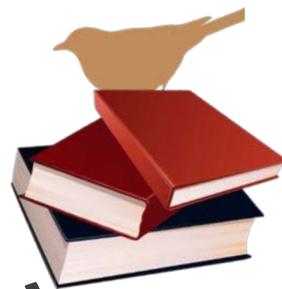




ぶらり らいぶらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 196

* 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 常設展示室の体験ひろばに布製のランドセルがあったが、作り方が載っている資料はあるか?

答) 常設展示室に展示されていた資料やテーマに関係する問い合わせは、図書室にはよく寄せられます。

全資料 → ことばから探す → ランドセル 作り方 → 9件

雑誌9件がヒットしました。そのなかで以下の3件に作り方が載っていました。

『婦人倶楽部 第21巻第3号(昭和15年3月)』(051/F64/21-3) 閉架書庫
廃品を利用して簡単に出来る小学生用品一揃の作り方

- (1) 古オーバーを利用した女兒用ランドセル
- (2) 男児用ランドセル

『婦人倶楽部 第23巻第3号(昭和17年3月)』(051/F64/23-3) 閉架書庫
新入学児童の学用品一揃の作り方
残り布から男女児用ランドセル

『主婦之友 第32巻第3号(昭和23年3月)』(051/Sh99/32-3) 閉架書庫
(洋裁の誌上講習)
男女児通学用のランドセルとお弁当入れの作り方

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

かちふだ 勝札から宝くじへ



第1回宝くじは昭和20年10月29日に発売されました。実はこの約3ヶ月前に政府が戦費調達を目的として「勝札」という^{かちふだ}富^{とみ}くじを発売していました。「勝札」の発売締切日は昭和20年8月15日、つまり終戦の日でした。このことから勝札は「^{まけふだ}負札」と呼ばれるようになり、この1回限りで姿を消しています。

同年10月、政府は戦災復興の第1回宝くじと銘打ち、1枚10円で売り出します。この時の当りは下記のような内容でした。

1等：賞金10万円×100本、2等：1万円、3等1000円、4等50円、5等20円
副賞としてカナキン（上質の綿布）1等：50ヤール、2等：20ヤール、3等：10ヤール、
4等：2ヤール

※1ヤール=約91センチ

ハズレ券でも4枚でたばこ10本と引き換えられました。当時、たばこは配給品で、1日3本だったこともあり、大変人気がありました。

この第1回宝くじの抽選会は、昭和20年11月13日に行われました。会場は日本橋三越で、当選発表前にはパイプオルガンからベートーベン交響曲第5番「運命」が流され、抽選の様子はNHKラジオで全国放送されました。当日は約5000人の観客が押し寄せ、ショーケースが押しつぶされるほどの騒ぎだったようです。

その後、賞金額はどんどん高められ、当初1等10万円であったのが、昭和22年5月には20万円に、同年末にはついに100万円となりました。



参考文献

『物価の文化史事典』337/Mo57 開架

『宝くじ戦争』676/095 閉架

『円の百年』337/To63 閉架

『日本勧業銀行70年史』338/N71 閉架

『昭和タイムズ 昭和元年－昭和20年』210.75/Sh97/1 閉架

－図書室からのお知らせ－

図書室内のハングオールにて「戦中・戦後の宝塚歌劇団」に関する資料を紹介しています。どうぞご利用ください。

ぶらりらいぶらりい～図書室にはこんな本があります～ NO. 196

2016年12月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1